



**YANMAR**

News Release

2020年6月16日

ヤンマーホールディングス株式会社

## 「東南アジアサッカー選手権 2020年大会」の オフィシャルスポンサー契約を締結

ヤンマーホールディングス株式会社(本社:大阪市、社長 山岡 健人)は、2020年11月～12月に東南アジア11カ国が出場する、「東南アジアサッカー選手権大会」(通称:「AFF SUZUKI CUP 2020」)のオフィシャルスポンサー契約を2016年大会、2018年大会に続き締結しました。

2年に1度開催される「東南アジアサッカー選手権大会」は、東南アジアサッカー連盟(AFF)に加盟する各国代表チームが戦う、東南アジア最大のスポーツイベントです。



ヤンマーオフィシャルスポンサーロゴ

ヤンマーは、本大会へ向けて「WE ASSIST HOPE」をスローガンに掲げ、参加国において様々なコミュニケーション活動を行います。同スローガンは、サッカーの「アシスト」がチームの重要な役割を担うように、当社の高度な農業IoTサービス「SMARTASSIST」の提供などによる東南アジアの農業支援とサッカーの喜びや感動を分かち合うワクワクした体験を通じて、東南アジアの豊かな暮らしを育む希望を「アシスト」したいという想いがこめられています。



スローガン「WE ASSIST HOPE」

今後も当社は、サッカーが与える大きな可能性を通じて、世界の人々と繋がり、共に発展し、心豊かな体験に満ちた社会の実現を目指していきます。

<ヤンマーホールディングス株式会社 スポーツビジネス推進室長 原山 壮太 コメント>

「『AFF SUZUKI CUP 2020』のオフィシャルパートナーとして、当社の技術を通じて東南アジア社会の発展にかける想いと、スポーツへの情熱を東南アジアの皆様にお伝えしたいと思います。サッカーには、言葉と国境の壁を越えて人々を結びつける力があります。当社は、スポーツを通じて“ワクワクできる心豊かな体験に満ちた社会”の実現に貢献したいと思います。」

<AFF SUZUKI CUP について>

AFF SUZUKI CUP は、東南アジアサッカー連盟(AFF)が主催するサッカー大会で、東南アジア諸国の代表チームが東南アジア No.1 を目指して競います。2年に一度開催され、国際サッカー連盟(FIFA)からも認定を受ける国際大会です。13回目となる今大会は、予選を勝ち上がった10チームを5チームずつの2組に分け、それぞれ1回総当たり戦で対戦します(各チームはホーム・アウェイを2試合ずつ行う)。各組上位2チームが準決勝に進出し、準決勝・決勝は、ホーム・アウェイ方式で試合が行われます。

詳細は AFF SUZUKI CUP のホームページをご覧ください。

[www.affsuzukicup.com](http://www.affsuzukicup.com)

<ヤンマーについて>

1912年に大阪で創業したヤンマーは、1933年に世界で初めてディーゼルエンジンの小型実用化に成功した産業機械メーカーです。「大地」「海」「都市」のフィールドで、産業用エンジンを軸に、アグリ、建機、マリ、エネルギーシステムなどの事業をグローバルに展開し、お客様の課題を解決するソリューションを提供しています。ヤンマーは“A SUSTAINABLE FUTURE-テクノロジーで、新しい豊かさへ。”をブランドステートメントに掲げ、次の100年へ向けて持続可能な社会の実現に貢献していきます。

詳しくは、ヤンマーのウェブサイト <https://www.yanmar.com/jp/about/> をご覧ください。

<注記>

記載されている内容は発表時点のものです。最新の情報とは内容が異なっている場合がありますのでご了承願います。

---

【報道関係者お問い合わせ先】

ヤンマー 広報担当

E-mail: [koho@yanmar.com](mailto:koho@yanmar.com)